

労働者を祝う

昨日は全米各地で労働者の日が祝われ、いつものように、アメリカにおける勤勉さと労働者の貢献を称えるスピーチや、過去数世代でアメリカの労働者の生活水準がこれほど上昇した理由についての主張がなされました。

そしてそれは、政府が強制する団体交渉の権利、最低賃金、労働時間数の上限を定める法律、労働条件に関する規則など、政府の行動や規制の美德とされるものを称賛することを意味することが多々ありました。この世界観によると、労働者を助ける鍵は、労働者の生活を向上させる政治家に投票することです。

これとは対照的に、労働者の物質的な生活水準の向上に関して言えば、自由市場と資本主義が優先され、政府の行動は後回しにされるべきであると考えます。

労働者の報酬は、最終的には起業家が率いる雇用主が、労働者の時間と労力をより多くの商品やサービスに変換する能力に依存しています。ひいては、労働者をより効率的にする新技術にも左右されます。大学を中退して成功した起業家もたくさんいますが、教育水準も重要です。一方、数十年来の堅固な企業の中には、生産性以外のことを重視しているところもあり、こうした企業とその労働者は損失を被るようになります。

言い換えれば、労働者の日は、労働組合や政府を祝うのではなく、自由市場と資本主義を祝う日とするべきなのです。

また、政府支出と規制など政府の肥大化など、自由市場に対する障害に目を光らせるべきです。

とはいえ、世界各地のメーデーとは対照的に、労働者の日にはアメリカらしさがあります。労働者を祝うと言いながら、メーデーの本当の目的は、労働者を「階級」として扱い、あるいは労働者の名において一部の知識人による権威主義的な権力を掌握することです。これは労働者にとっていいことではありません。

メーデーではなくレイバー・デー（労働者の日）を祝うのは、アメリカ以外にカナダ、オーストラリア、ニュージーランド、日本など、世界で最も繁栄している国々があります。メーデーは西ヨーロッパ諸国でも祝われていますが、生活水準は社会主義国ほど停滞していないものの、成長と繁栄は遅れ始めています。

要するに、労働者と企業家の繁栄には、これらのグループ間の自由な交流が必要だということです。労働者と企業家は互いを必要としており、両者が協力し合うことで、より良い関係を築くことができるのです。彼らはお互いを必要としており、知識人や政治家の監視の外で交流することができれば、よりうまくいくはずで

発表日時 (米国中部時間)	米国経済指標	コンセンサ ス	ファースト トラスト予測	発表結果	前回
9-3 / 9:00 am	ISM 指数 - 8月	47.5	47.5	47.2	46.8
9:00 am	建設支出 - 7月	+0.1%	+0.1%	-0.3%	-0.3%
9-4 / 7:30 am	国際貿易収支 - 7月	-\$790 億	-\$789 億		-\$731 億
9:00 am	製造業受注 - 7月	+4.7%	+5.2%		-3.3%
afternoon	自動車/トラック総売上げ - 8月	15.4 百万	15.3 百万		15.8 百万
afternoon	自動車/トラック国内売上げ - 8月	11.8 百万	11.7 百万		12.1 百万
9-5 / 7:30 am	新規失業保険申請者数 - 8月 28日	230,000	232,000		231,000
9:00 am	ISM 非製造業指数 - 8月	51.1	51.1		51.4
9-6 / 7:30 am	非農業部門雇用者数 - 8月	165,000	180,000		114,000
7:30 am	民間雇用者数 - 8月	140,000	160,000		97,000
7:30 am	製造業雇用者数 - 8月	-2,000	-2,000		1,000
7:30 am	失業率 - 8月	4.2%	4.3%		4.3%
7:30 am	時間当たり平均賃金 - 8月	+0.3%	+0.3%		+0.2%
7:30 am	週平均労働時間 - 8月	34.3	34.3		34.2